



宮若市

MIYAWAKA CITY

ひと・みどり・産業が輝くふるさと宮若

～市民・地域産業が賑わう住みよいまちを目指して～

# 福岡県宮若市 廃校活用事例発表

宮若市秘書政策課

令和3年10月8日廃校マッチングイベント(オンライン)

# 宮若市の基本情報

## ■福岡県市町村図



## ■面積(県内9位)

総面積 (R1.10)	耕地 (R1.7)	宅地 (H31.1)	森林 (R2.4)
139.99km <sup>2</sup>	17.30km <sup>2</sup>	9.60km <sup>2</sup>	<u>83.72km<sup>2</sup></u>

## ■産業

2016年 売上高(企業単位) 中分類

福岡県宮若市

売上高(企業単位) : 1,187,805百万円

製造業 > 輸送用機械器具製造業

2019年製造品出荷額等 1兆2,852億円 (県内3位)

1,117,619.0百万円

上図以外の売上高(企業単位)の合計 : 17,106百万円

【出典】  
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工  
【その他の留意点】+

# 宮若市の地理・交通情報

「福岡市」「北九州市」の間に位置する「宮若市」



## 「交通情報」

■西鉄高速バス(若宮IC)

「主要到着ポイント」

- ・天神高速バスターミナル(約40分)
- ・小倉駅前(約50分)
- ・福岡空港(約55分)

天神～小倉(108/日往復)※平日

■自動車(九州自動車道利用)

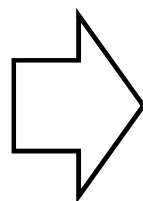
両政令市(福岡市、北九州市)まで  
約40分



# まちの沿革

●平成18年2月、「宮田町」と「若宮町」の合併により「**宮若市**」誕生

## ■炭鉱のまち



## ■自動車のまち



## ●自然豊かな いなかまち

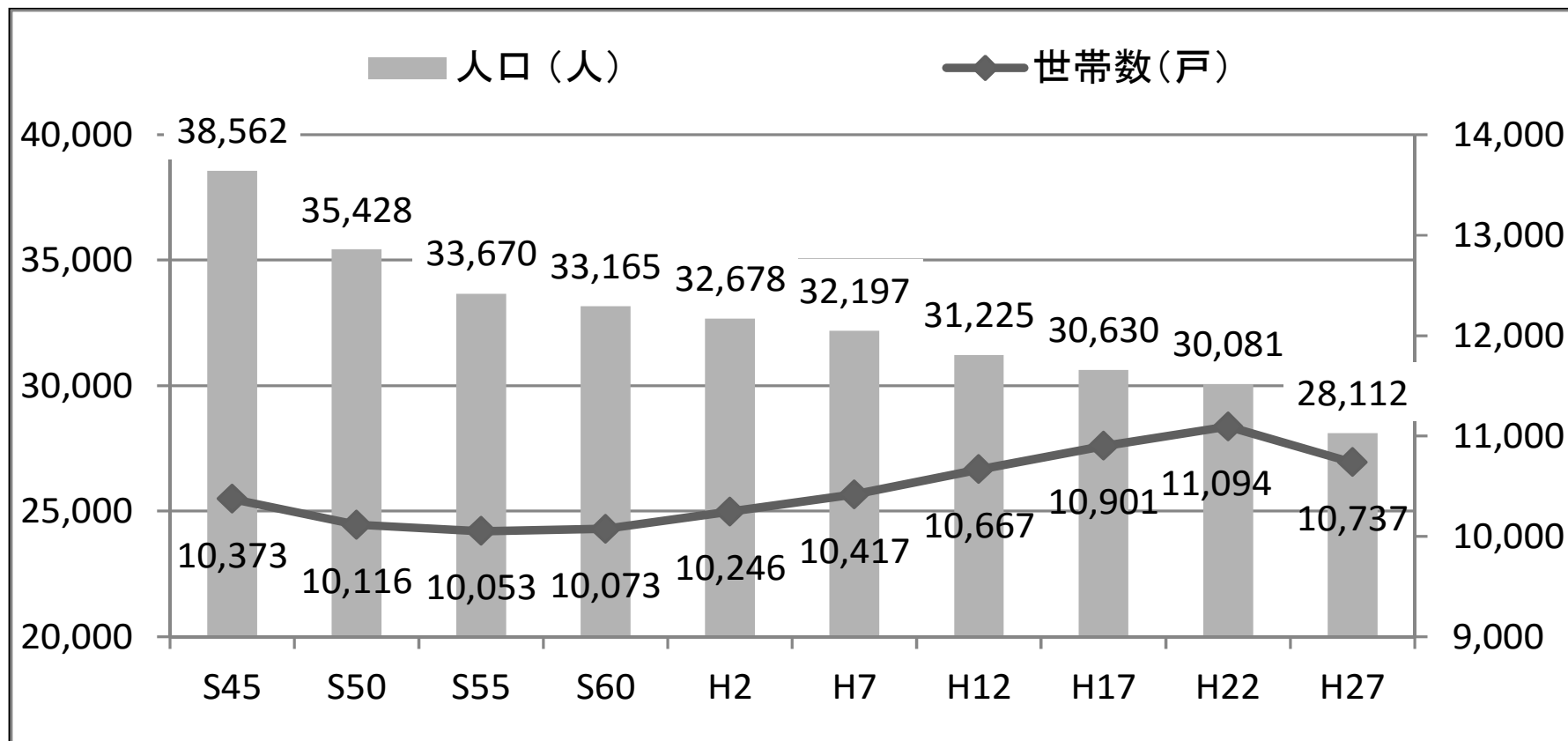
### ■美味しいお米(コンクール受賞多数)



### ■歴史ある温泉地



# 宮若市の人口動態①

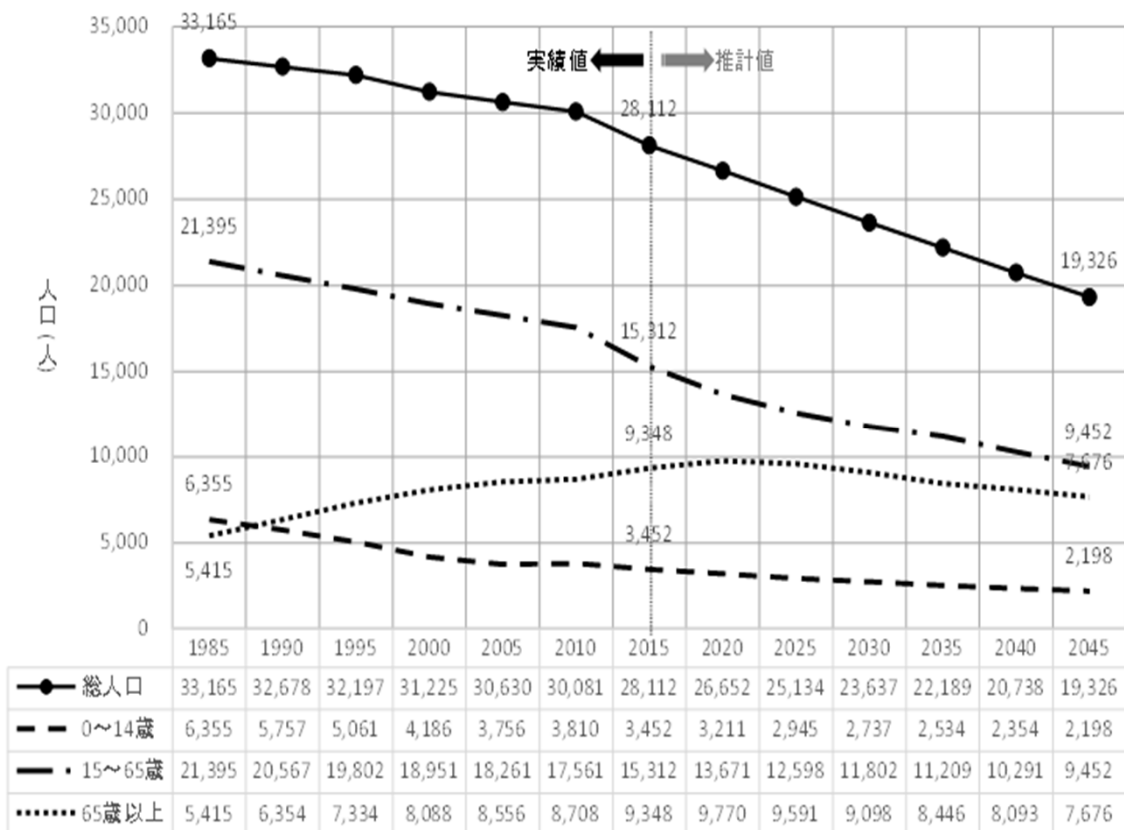


(令和3年6月現在)

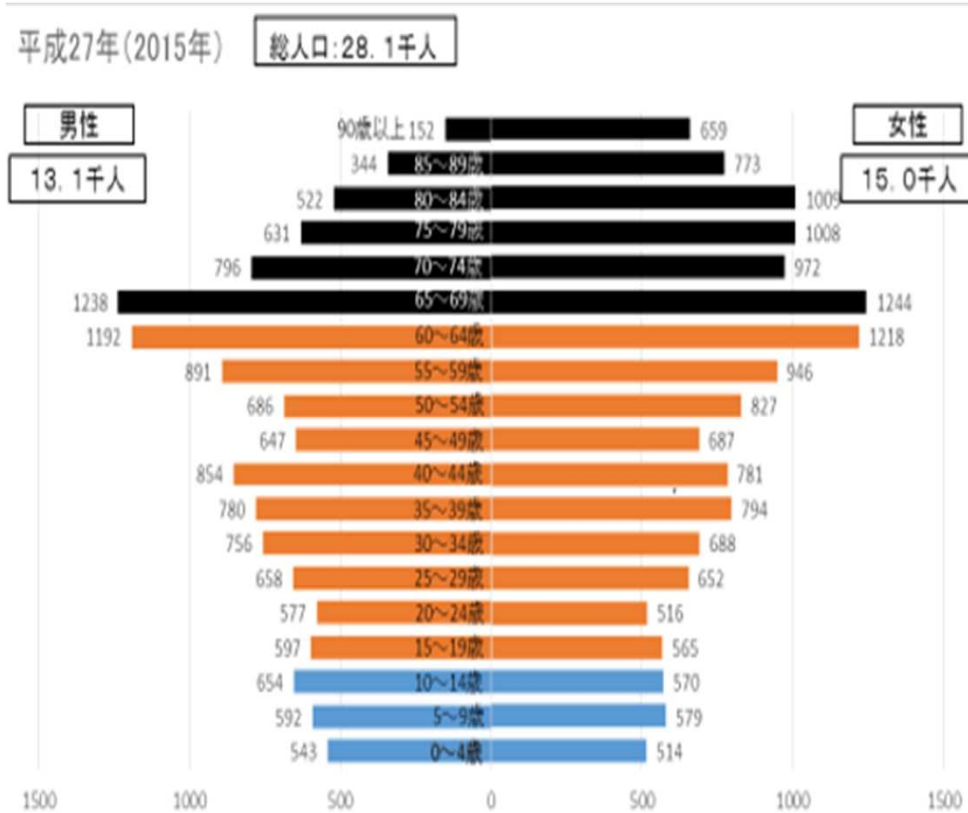
人口	世帯数	高齢化率
27,248	13,301	35.4%

# 宮若市の人口動態②

## ■人口の推移



## ■人口ピラミッド



# 宮若市が抱える諸課題

## ●少子化・高齢化

⇒一貫して人口減少、高齢化。市内企業従業員の低い定住率

## ●脆弱な公共交通

⇒コミュニティバスがメイン。鉄道が無い、市負担は右肩上がり

## ●産業の一極化

⇒自動車産業に特化。他産業の創出が必要

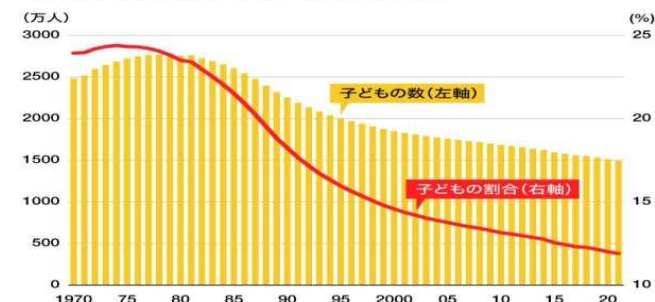
## ●利便施設等の不足

⇒医療、商業、遊戯施設が少ない

## ●シティプロモーション戦略不足

⇒低い発信力。宮若市の事を知らない

子どもの数と全人口に占める割合の推移



2020-21年は4月1日現在、それ以前は10月1日現在  
総務省の公表資料を基に編集部作成



## 廃校活用までの経緯

---

### ●小規模化している学校教育等の充実に向けた再編の取組

平成17年度 宮若市発足時には**中学校4校、小学校10校、幼稚園7園**

平成20年度 宮若市学校等整備方針策定

平成22年度 宮若市学校等整備計画策定(中学校)

平成27年度 宮若市学校等整備計画策定(小学校・幼稚園)

平成29年度 再編統合により**中学校3校、小学校6校、幼稚園2園**が跡地  
**「宮若市学校施設等跡地利活用方針」**策定  
学校施設等跡地の利活用に関する基本的な考え方を示す

## ●利活用方針の基本的な考え方、及び利活用実績

### ①行政需要への対応

AI開発センター、農業観光振興センター、地産地消レストラン、武道場、再編校の建設、文化財収蔵展示施設、行政倉庫など

### ②民間事業者等の利活用

賃貸借：企業主導型保育所、シイタケ栽培事業  
売却：3施設(幼小中各1)

### ③中・長期的な視野に立った利活用

定住関連施設として検討中

### ④地域ニーズを踏まえた活用

地域住民の集会施設

※辺地(交通等諸条件が脆弱な地域)



## 廃校活用にあたって取り組んだこと

- ① 地元企業の事業拡大等に向けた打診  
既存工業団地が完売。大規模事業用地なし
- ② 文部科学省「みんなの廃校プロジェクト」への掲載  
反響が大きく問い合わせ増加
- ③ 跡地利活用検討委員会にて応募企業の選定等を実施  
(企画部門、教育部門を事務局とする庁内検討組織)  
総合計画の方向性や地方創生の観点等から検討
- ④ 地元説明会・調整  
指定避難所減少についての意見多
- ⑤ 国等の補助メニューに関する情報収集など  
官民連携による地方創生事業としての組み立てを模索

# 活用事業者決定の決め手(今回のケース)

学校再編により廃校となった「旧吉川小学校校舎」をAI開発センターとして、リニューアル。市：施設整備、トライアル：管理運営（地方創生関係交付金事業）

## ①(株)トライアルホールディングスからの相談

### 立地企業の事業拡大支援

## ②産業構造の多様化

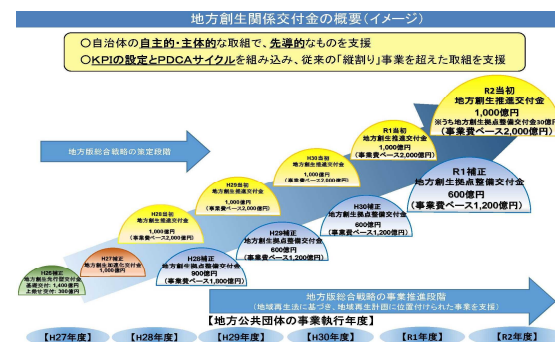
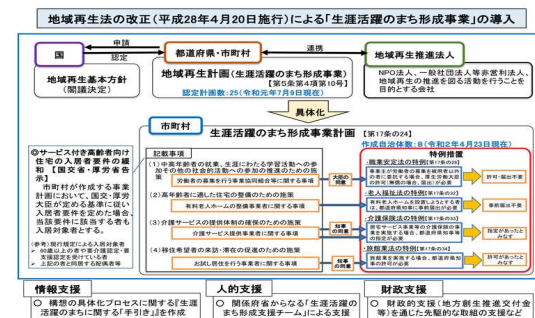
### 製造業に特化した産業構造への懸念

## ③先端技術の活用

### 総合戦略に先端技術の活用を 分野横断的に位置付け

## ④学校施設等跡地利活用方針との一致

### 民間事業者の利活用推進を位置付け





## 苦勞したことや工夫した点など

### ①事業実施スキームの検討

PFI事業(コンセッション方式)として地方創生関係交付金を活用

### ②事業スケジュール感の差異調整

基本・実施設計、工事費予算計上、議会調整etc…

### ③地元説明会・調整

指定避難所の減少に伴う  
対象区域住民の理解



# 廃校活用のメリット

## ①施設の有効活用による地域活性化

交流人口の増加、飲食利用等による経済効果

## ②地域のシンボル施設として存続

地域の拠り所としての施設を適切に維持管理、  
地域住民の憩いの場、公共的な利用など

## ③財政的メリット

未利用施設の維持管理経費の減少、  
貸付料収入等による歳入の増加



# 今後の展望、期待していること

---

## ①産業構造の多様化

情報産業への誘因効果、関連産業の創業など

## ②教育分野等への波及効果や人材育成

学校情報化と並行した先端技術に触れるコンテンツの提供  
(AI教室やスマートストアでの体験など)

## ③関係・交流・定住人口の増加

リモートワークによる関係人口の増加、施設来訪者の増加、  
関係・交流人口から定住人口への転換

## 問い合わせ先

---

●担当 宮若市 秘書政策課 政策推進係

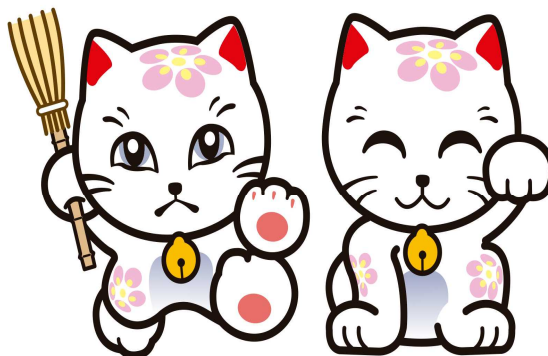
●MAIL [seisaku@city.miyawaka.lg.jp](mailto:seisaku@city.miyawaka.lg.jp)

●TEL 0949-32-0512

●FAX 0949-32-9430



イメージキャラクター「追い出し猫」



ご清聴ありがとうございました。



宮若市  
MIYAWAKA CITY